

様式第 10 号

炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
 給湯湯沸設備・乾燥設備
 ヒートポンプ冷暖房機
 火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

神戸市消防長 宛	年 月 日
1届出者 住 所 (電話) 氏 名	
次の設備を設置するので、神戸市火災予防条例第 53 条の規定により次のとおり届け出ます。	

2	所在地	区	(電話)
---	-----	---	-------

防火対象物	名 称	主 要 用 途	
-------	-----	---------	--

3 設 置 場 所	用 途	床 面 積	m ²	消 防 用 設 備 等	
	構 造	階 層			

4 届 出 に 係 る 設 備	設 備 の 種 類				
	工 事 種 別		<input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 移設 <input type="checkbox"/> 取替え <input type="checkbox"/> 改造 <input type="checkbox"/> その他		
	着 工 (予 定)		完 成 (予 定)		
	年 月 日		年 月 日		
	設 備 の 概 要	位 置			
		構 造			
	使用する燃料・ 熱源・加工液		種 類		
使用量 (入力量)					
安 全 装 置					

5 取 扱 責 任 者	職 ・ 氏 名	
----------------	---------	--

6 工 事 施 工 者	住 所	(電話)
	氏 名	

※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

備考

- 1 この届出書は、本人又はその代理人が記入すること。
- 2 届出事項を○で囲むこと。
- 3 ※の欄は、記入しないこと。
- 4 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
- 5 当該設備の設計図書を添付すること。
- 6 1の欄については、届出者が法人である場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- 7 2の欄の「所在地」は、届出者の住所と同一であれば、同上と記入すること。
- 8 3の欄の「用途」は、ボイラー室、炊事室等と具体的に記入すること。
- 9 3の欄の「階層」は、屋外に設置する設備は、屋外と記入すること。
- 10 4の欄の「設備の種類」は、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
- 11 4の欄の「構造」は、放電加工機については、危険物保安技術協会による型式試験確認済証に記載されている確認番号及び確認年月日を記載すること。
- 12 4の欄の「使用量（入力量）」は、火花を生ずる設備及び放電加工機以外の設備は、1時間当たりの入力を記入すること。この場合の入力量は、次の換算表において換算すること。

設 備	換 算 式 等	
液体燃料を熱源とする設備	入力量＝燃料の低発熱量×燃料消費量	
	(MJ/h)	(MJ/l) (l/h)
	燃 料 名	低発熱量 (MJ/l)
	灯 油	34.5
	軽 油	35.2
	重油	
	A 重 油	37.3
	B 重 油	38.1
	C 重 油	38.2
気体燃料を熱源とする設備	入力量＝燃料の発熱量×燃料消費量	
	(MJ/h)	(MJ/m ³) (m ³ /h)
	燃 料 名	発熱量 (MJ/m ³)
	都市ガス (13A)	46
	プロパンガス	99

- 13 4の欄の「安全装置」とは、自動式若しくは手動式のダンパー（防火ダンパーを含む。）による閉鎖装置、ダンパーの作動と合わせて熱風を他へ放出する装置又は一定の温度で溶融する金属を用いてコックを閉鎖する構造をいう。
- 14 5の欄の取扱いにつき主管課等がある場合はその代表者の職及び氏名を、その他の場合は直接の取扱者の職及び氏名を記入すること。
- 15 6の欄には、直接の工事人又は現場監督者を記入し、事務所等がある場合は、その所在地を記入すること。